

CHOFU 高圧力型石油瞬間給湯器 高圧力型石油小形給湯機 [温水ボイラ] 工事説明書

型名 IBF-4550SGH (減圧弁・逆止弁内蔵)

機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく据付けてください。なお、この工事説明書は工事終了後、取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

特に注意していただきたいこと

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。

禁止	指示	アースを接続すること
----	----	------------

警告

ガソリン厳禁 ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	灯油専用	屋内設置禁止 禁止
家庭用以外の使用禁止 この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用を使用すると法令違反になります。	禁止	必ず屋外に設置してください。また、屋外でも通気の悪い場所には設置しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

据付けや移動は、販売店または据付け業者が行ってください
お客様自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事や水道工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守ってください

注意

次の場所には据付けない
火災や予期しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 換気が行えない場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 排水のしにくい場所

排気口と建物開口部との距離を離す
●できるだけ周囲に窓などの建物開口部がない場所に設置してください。もしある場合は、下図の範囲内に建物開口部がない場所に設置してください。特に隣家の窓には注意してください。

可燃物との距離を離す
●機器から周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。周囲を防熱板、不燃材構造とした場合は緩和されますので、各地域の火災予防条例を参照してください。☆印の寸法はサービススペースとして必要な距離です。●据付ける際には配管のためのスペースを考慮に入れてください。

標準据付図例

囲い禁止
機器や排気部を波板などで囲まないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災の原因になります。

油タンクとの距離を離す
●油タンクは機器より2m以上離して据付けるか、防火上有効な壁がない場合は2m以上。●不燃材でできた水平な基礎の上に据付けてください。

ゴム製送油管の屋外使用禁止
屋外では必ず銅管等を使用し、絶対にゴム製送油管は屋外で使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

アース工事をすること
アース工事を確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

開こん

- 1 開こんの際の注意事項**
- 機器がご使用になる目的、用途に適合しているか確認してください。
 - 表示してある電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。
 - 梱包材から機器をていねいに取り出してください。
- 2 付属品の確認**
- 次の部品が梱包されていますので、不足のないことを確認してください。

排水用ホッパー	送油管	給水口保温材	取扱説明書(保証書付) 工事説明書

※製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

据付け

【特に注意していただきたいこと】の項も必ず確認してください。

1 機器の設置

- 機器は必ず水平な場所に置かれているか確認してください。傾いていると対震自動消火装置が誤作動します。
- 機器をコンクリート等で埋め込まないでください。
- 設置床面は凹地にしないでください。水やゴミがたまって不完全燃焼の原因になります。

2 排水用ホッパーの取り付け

(1)付属の排水用ホッパーを機器左側面のオーバーフローぐち(2個)をはずして、そのねじで固定してください。

(2)排水用ホッパーに市販の塩ビ管(呼び径20)を接続して排水溝へ配管してください。

3 油タンクについて

- 風通しがよく、直射日光ができるだけあたらぬ場所に設置してください。
- 油タンクの容量が200L以上の場合は消防署へ「危険物の貯蔵・取扱届」が必要です。個人の住居に設置するときは不要となる場合があります。詳しくは各地域の火災予防条例を参照してください。
- 油タンクには必ず水抜きバルブを設けてください。

4 送油管の取り付け

注意

- 接続部から油漏れがないように注意してください。
- 送油管が機器内部の部品に接触しないように接続してください。

●送油管が途中で逆U字型になって、空気だまりができないようにしてください。

●送油管内のゴミ等を取り除いてください。

●図のように油タンクに送油バルブを取り付けて、送油管を接続してください。

●送油管接続口にしっかりと接続してください。

5 送油経路の空気抜き

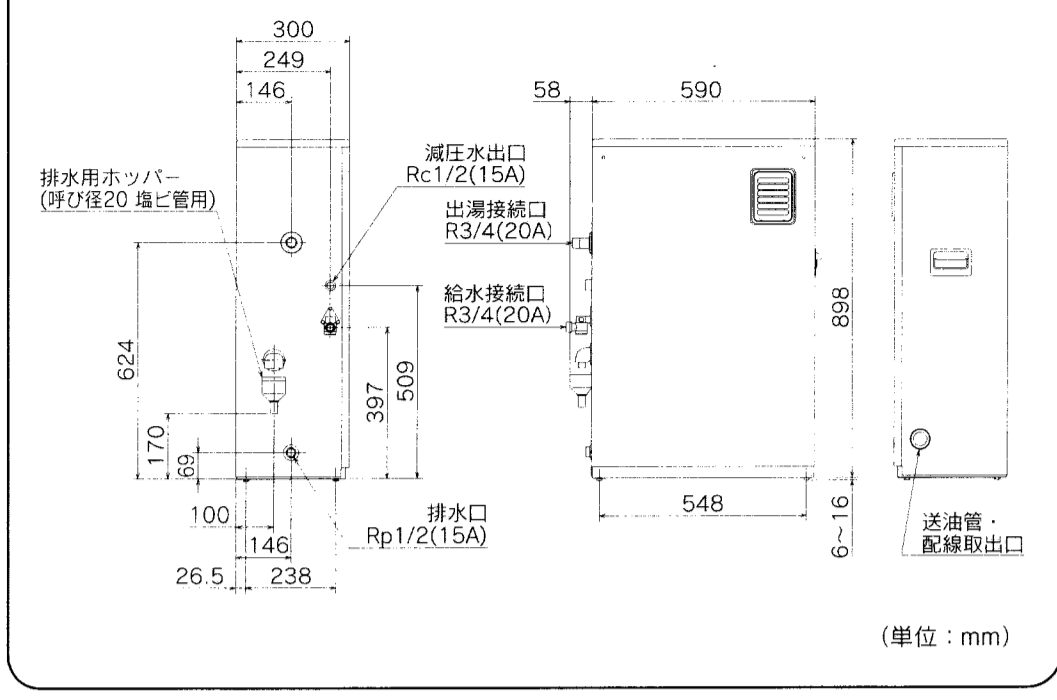
(1)油ストレーナの下に受け皿などを置きます。

(2)送油バルブを開き、油ストレーナの空気抜きねじをゆるめて、灯油が連続して出てきたらねじを締めてください。

(3)こぼれた灯油を拭きとってください。

●試運転時に油ストレーナの空気抜きを行っても、電磁ポンプ内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがあります。故障ではありません。警報になった場合はリモコンの運転スイッチを一度「切」にして再度「入」にしてください。

外形寸法図



水道配管

注意

- 配管工事は各市町村水道局(課)の指定工事店に依頼し、所轄の水道局(課)の規定に従ってください。
- 配管材料、シール材等は各市町村水道局(課)承認のものを使用してください。
- 配管はすべて保温してください。
- 出湯配管は脱酸銅管またはステンレス管をおすすめします。塩ビ管は使用している間に破裂するおそれがあります。また、銅管は赤錆発生の原因になりますので、使用しないでください。
- この機器を温泉水・井戸水で使用すると、機器の熱交換器・内部配管の水漏れ等耐久性を損なう場合があります。

1 配管上の注意

- この機器には減圧弁、逆止弁、逃し弁が内蔵されています。
- 上水道に直結する場合は、水道局(課)の認可が必要です。詳しくは所轄の水道局(課)に確認してください。自家用の井戸ポンプに接続する場合はお近くの工場・営業所にご相談ください。できるだけ上水道に接続することをおすすめします。
- 機器の取りはずしができるようにユニオン継手で接続してください。
- 配管を機器に接続する場合は、必ずスパナ・パイレンチなどを接続口にかけて、機器内に無理な力がかからないように注意して接続してください。
- 機器内に空気がたまらないように、できるだけ出湯側に自動空気抜き弁を取り付けてください。
- 機器に接続する前には必ず水を流して配管内のゴミを排出してください。
- 混合水栓はその混合水栓の仕様に従って接続してください。
- 絶対に減圧水出口に上下水道やポンプ、太陽熱温水器を接続しないでください。
- 太陽熱温水器を接続する場合は直圧式の太陽熱温水器を給水側に接続してください。
- やけど防止のためサーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

標準配管例

2 給水配管

- 機器の給水接続口の近くには必ず給水元栓を取り付けてください。
- 給水管は水道管から直接配管してください。

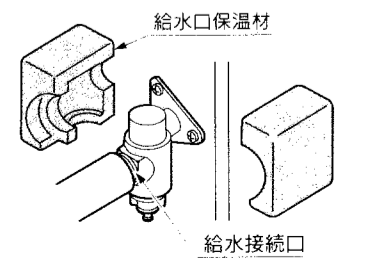
3 出湯配管

- 機器は使用頻度が高い場所の近くに取り付け、出湯配管はできるだけ短くしてください。
- 混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。
- 継手類はできるだけ少なくし、複雑な配管にならないようにしてください。
- 空気だまりができないような配管にしてください。

4 配管の凍結予防

- 保温は水漏れテスト後に行ってください。
- 保温材の端面は防水処理を行ってください。
- 付属の給水口保温材で給水接続口を保温してください。
- 寒冷地ではさらに市販の電気ヒータを配管やバルブ類に巻いて、十分な保温を行ってください。保温が充分でないと凍結予防処置を行っても効果がありません。
- 水抜きが簡単にできるように配管し、もしできない場合は配管の途中に水抜きバルブを取り付けて水抜きができるようにしてください。
- 凍結予防工事を完全に行っても、お客様に凍結予防方法を実行していただきませんと凍結してしまうことがあります。取扱説明書に説明してありますので、実際に操作して指導してください。

- 3 別売部品**
- この機器には以下のいずれかの別売のメインリモコンセットが必要です。メインリモコンセットを取り付けないと操作できません。(サブリモコンセットを追加することもできます。)
- メインリモコンセット [IR-4] [リモコン(CMR-2101)・リモコンコード] [IR-4V] [リモコン(CMR-2101V)・リモコンコード] [IR-6] [リモコン(CMR-2202)・リモコンコード]
 - サブリモコンセット(CMR-2200S)
 - リモコンコード
 - 油切れ予告装置(OC-3)

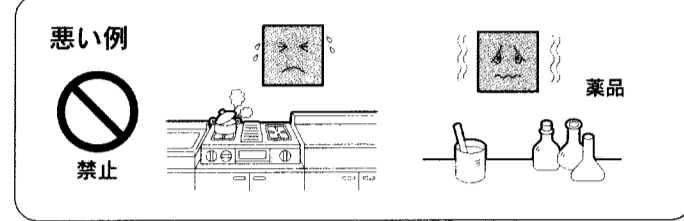


リモコンの取り付け

- この機器には別売のメインリモコンセットが必要です。メインリモコンを取り付けたいと操作できません。
- また、この機器には別売のサブリモコンセットが接続できます。
- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- リモコンコードは電源プラグを抜いた状態で接続してください。

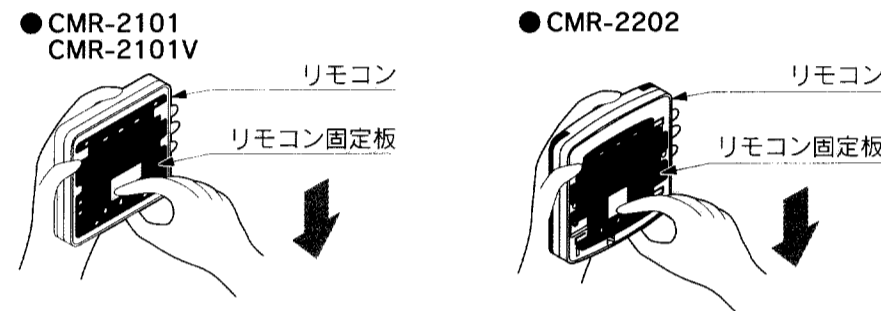
1 リモコンの取り付け上の注意

- ガステーブル・こんろなどの燃焼器具の上部には絶対に取り付けしないでください。電気部品の故障・外装の変形をおこします。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・水滴、じゃ口からの水しぶきがかかる場所には取り付けしないでください。
- 直射日光のあたる場所には取り付けしないでください。
- お湯の使用頻度の高い場所(台所等)の近くに取付けていただくとう便利です。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取り付けしないでください。



2 リモコンの取り付け

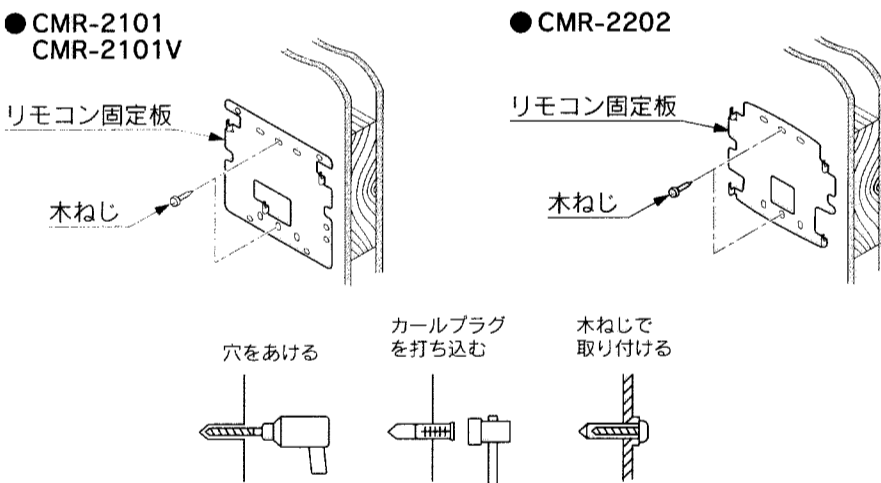
(1) リモコン固定板を下にスライドさせ、リモコンからはずします。



(2) リモコン固定板を壁に固定します。(リモコン固定板を使用しなくても取り付けられます。)

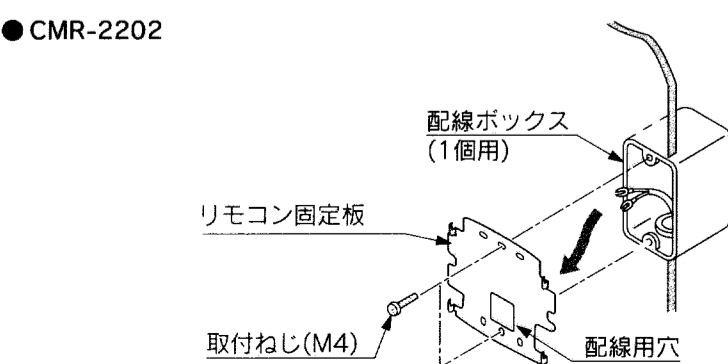
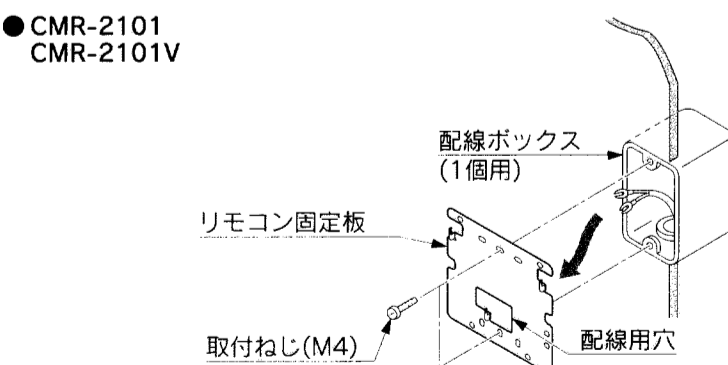
露出配線の場合

壁の丈夫な場所(柱等)にリモコン固定板を付属の木ねじ(2個)で直接固定します。タイル、コンクリート、モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじ止めする場合は、付属のカールプラグを使用してください。



埋め込み配線の場合

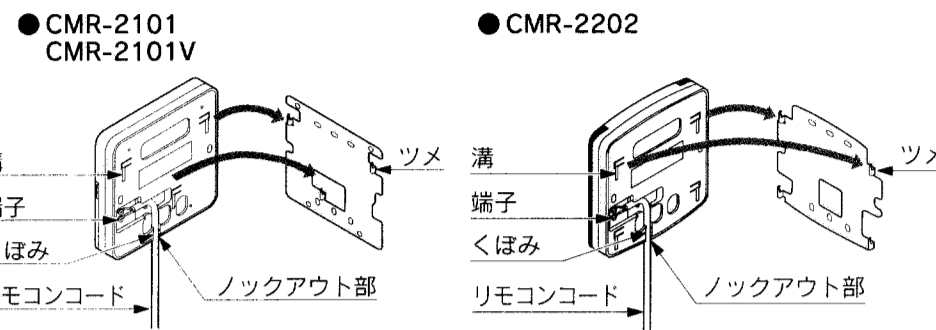
- ①事前に壁内部に電線管と別売のリモコンコードを通して、配線ボックスを設置します。
- ②リモコンコードをリモコン固定板の配線用穴から引き出します。
- ③リモコン固定板を配線ボックスの取付ねじ穴に合わせ、取付ねじ(M4)で固定します。ねじを強く締めすぎるとリモコン固定板が変形してリモコンが取り付けられなくなる場合があります。



- (3) リモコンの基板の端子に別売のリモコンコードを接続します。リモコンコードは無極性ですので、+はありません。端子への接続時に無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴を破損するおそれがありますので、使用しないでください。

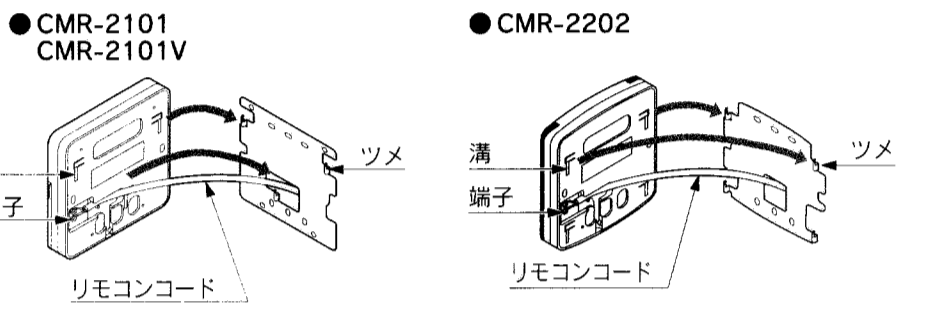
露出配線の場合

リモコン下部のノックアウト部を切り取り、そのくほみにリモコンコードを入れて、図のように端子にしっかりと接続します。



埋め込み配線の場合

リモコン固定板の配線用穴から引き出したリモコンコードを図のように端子にしっかりと接続します。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。



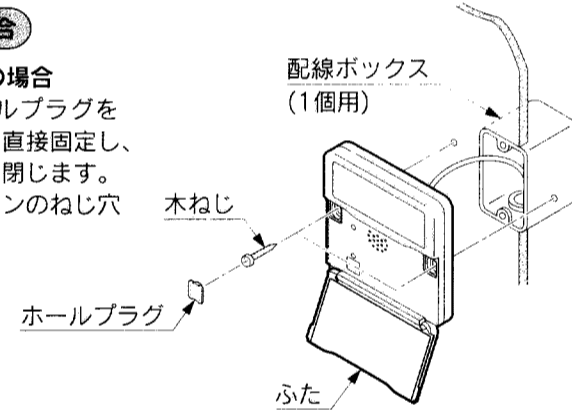
(4) リモコンを取り付けます。

リモコン固定板を使用する場合

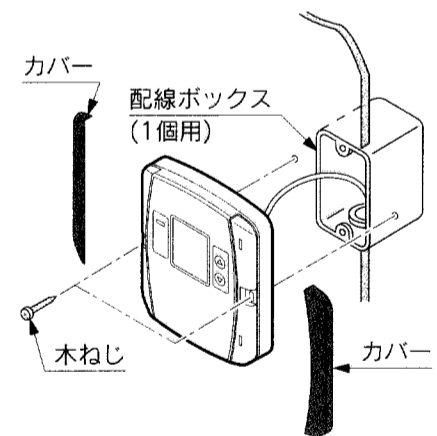
リモコン固定板のツメ3カ所をリモコンの背面の溝に合わせて、上からスライドさせ固定します。

リモコン固定板を使用しない場合

- CMR-2101・CMR-2101Vの場合
リモコンのふたを開いてホールプラグをはずし木ねじでリモコンを壁に直接固定し、ホールプラグを取り付けふたを閉じます。ねじを強く締めすぎるとリモコンのねじ穴が破損するおそれがあります。

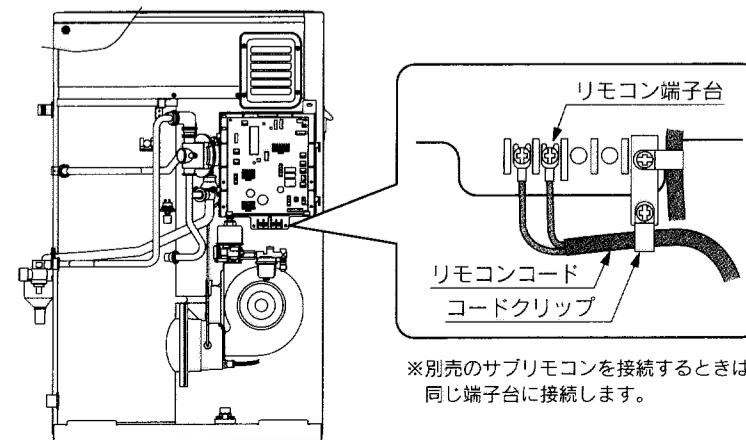


- CMR-2202の場合
リモコンの左右のカバーをはずし木ねじでリモコンを壁に直接固定し、カバーを取り付けます。ねじを強く締めすぎるとリモコンのねじ穴が破損するおそれがあります。(左右のカバーは下の角部の溝に爪をかけるとはずれます。)



3 機器との接続

- (1) 電源プラグをコンセントから抜きます。電源プラグを差したままリモコンコードを接続しないでください。
- (2) 機器の前パネルのねじ(2個)をはずして前パネルをはずします。
- (3) リモコンコードを機器側面の送油管・配線取出口から通しリモコン端子台に導きます。
- (4) リモコンコードをリモコン端子台に接続します。リモコンコードは無極性ですので+はありません。ドライバーなどが他の電子部品に接触しないように注意してください。
- (5) リモコンコードを本体付属のコードクリップでしっかりと固定します。
- (6) 機器の前パネルを元通りに取り付けます。



※別売のサブリモコンを接続するときは同じ端子台に接続します。

電気配線

注意

- 適切な位置にコンセントがない場合は、電気配線を電力会社の指定工事に依頼し、所定の配線をしてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱・火災の原因になります。

1 使用電源について

- 電源は必ずAC100Vを使用してください。絶対に200Vに接続しないでください。機器が破損します。

2 電圧低下について

- 電圧が低下すると故障・誤動作の原因になります。

3 電源周波数について

- 50Hz・60Hz 共用です。

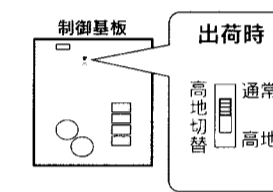
4 接地(アース)について

- アース工事を確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。
- 機器にアース端子を表示してあります。電気設備に関する技術基準に基づき、D種接地工事を行ってください。(接地抵抗 100Ω以下)
- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。



1000m以上の高地で使用する場合の措置

- 1000m~1500mの高地で使用する場合は、制御基板上の高地切替スイッチを切り替えてください。工場出荷時は「通常」になっています。高地切替スイッチは電源プラグを差し込む前に切り替えてください。
- 標高1500mを超える場所では使用できません。



据付工事後の点検・確認

- 据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

■機器およびその周辺

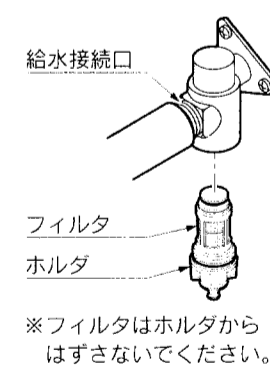
- 設置条件を満たしていますか。
- 可燃物との距離および防火上の処置は充分ですか。
- 機器や配管の接続部に水漏れはありませんか。
- 機器や油タンク、送油管に油漏れはありませんか。
- 点検・修理など保守・管理上必要な空間がありますか。

■電気配線工事

- 機器およびリモコンへの配線は、指定された工事で行われていますか。
- D種接地工事はされていますか。

■水フィルタの掃除

- 機器や配管の接続部に水漏れがないか確認後、図のように給水接続口の水フィルタを取り出し、水フィルタに詰まっているゴミを取り除いて、元通りに取り付けてください。



※フィルタはホルダからはずさないでください。

住宅設備機器総合メーカー



●本社 ー 7552-8555 山口県下関市長府扇町2-1 (0832)48-1111
FAX (0832)48-1906

試運転

- 試運転はお客様とご一緒に行ってください。

1 試運転

- (1) 取扱説明書の「据付け」の「試運転」に従って、試運転を行ってください。
- (2) 正常運転するか確認してください。
 - バーナーの点火・消火は確実ですか。(リモコンの燃焼表示を確認してください。)
 - 試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
 - 給湯温度調節はできますか。湯温が変化するかどうか確認してください。

2 お客様がすぐに使用されない場合

- 試運転後、機器や配管内に残った水をお客様が使用されるまで放置すると、凍結して機器が破損したり、熱交換器内の水が変質することがありますので、必ず水を抜いてください。(取扱説明書の「凍結予防」の項参照)

3 お客様への説明

- 取扱説明書に従って取扱方法をお客様に説明してください。
- 保証書に必ず必要事項をご記入のうえお客様にお渡しください。また取扱説明書に従って「アフターサービス」について説明してください。

廃棄するときの注意

- 機器を廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。